

令和4年度

教育委員会の事務執行に関する評価

(令和3年度対象)

令和4年12月12日

みやこ町教育委員会

# 目次

## みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動	3
II 教育委員会が管理・執行する事務	5
III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	8
1 学校教育における学習環境の充実	9
2 生涯学習のための環境整備	29
3 図書館の整備・充実	37
4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用	42
5 文化芸術振興活動の推進	51
6 スポーツ・レクリエーションの推進	54
外部評価委員会の所見	66

## 教育委員会の事務執行に関する評価の概要

### 1. 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成20年4月から施行された『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正により、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況について、自己点検および評価を行い、報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

みやこ町教育委員会では、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これらに基づいて実施した政策について、その「必要性」、「効率性」等の観点から自ら「点検」・「評価」・「公表」することは、町民に対する説明責任を果たすことにつながり、これによって町民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していく上で非常に重要なことであると考えております。

このことを踏まえて、令和3年度の教育委員会活動を

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理・執行する事務」
- III 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

の3点から、教育委員会自らがその進捗状況・達成状況等について、点検・評価を実施し、報告書を作成しました。

## 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評 価 判 断 基 準		
A 達成できた	B おおむね達成できた	C 達成できなかった

みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

評 価 項 目	指 標	評価	点 検 ・ 評 価	外 部 評 価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	A (A)	○ 定例会を11回実施した。 臨時会を2回実施した。	確実に計画的に実施されていることを評価したい。
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	A (A)	○ 教育委員会の会議における案件については、事務局により提案し、学校教育課長及び生涯学習課長が説明し、詳細説明については、それぞれの係長等が補足説明を行っている。	
(2) 教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	B (B)	○ 傍聴者3名 ホームページに開催日時を掲載し、傍聴を促している。	今後も広報に力を注ぎながら、会議内容を周知していただきたい。
	② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	A (A)	○ 議事録は、情報公開条例に基づいて公表するようにしている。  ○ 教育委員会議事録をホームページに掲載し公表している。	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(3) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京築地区で開催された教育委員対象の研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・京築教育事務所管内市町教育委員会教育委員等人権教育研修会 10/22</li> <li>・京築地区市町教育委員会教育委員等研修会 2/7</li> </ul> </li> <li>○ 教育委員を対象にした研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村教育委員会オンライン協議会 9/2</li> </ul> </li> </ul>	どのような研修を受け、そのことをどのように教育施策に反映していこうとしているのかを明確にしていきたい。
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	① 学校訪問	A (B)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学式、卒業式、運動会等の学校行事に参加した。</li> <li>○ 教育事務所の要請学校訪問が実施され、勝山中学校と祓郷小学校を訪問した。</li> <li>○ 節丸小学校の閉校式に参加した。</li> </ul>	
	② 所管施設の訪問	B (B)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サン・グレートみやこにおいて、ビデオ録画方式で開催された、英語スピーチ大会に参加した。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各施設で行われる生涯学習課の行事や体育協会等の行事への参加は行われなかった。</li> </ul>	

## II 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		A (A)	○ みやこ町教育施策について審議を行い、策定し、各学校に説明、配布した。	学校教育課においては、各校長より学校運営上の意見は聴取していると思われるが、生涯学習施設の課題も聴取し、町の課題解決に役立てて下さることを期待したい。
(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること。		A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町立学校への区域外就学取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について</li> <li>・みやこ町小中学校の就学指定校変更取扱規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町立小学校の校区に関する取扱要綱の一部を改正する訓令の制定について</li> <li>・みやこ町教育委員会の公印に関する規則の一部を改正する規則について</li> <li>・みやこ町豊津地域水泳プール施設規則の一部を改正する規則の制定について</li> </ul>	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			・みやこ町スクールバス運行規則の一部を改正する規則の制定について	
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		A (A)	○ 教育委員会に新年度の主要な予算について報告。	
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること			○ 該当なし。	
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること		A (A)	○ 管理職人事、人事異動に係る内申を行った。	
(6) 教育委員会の所管に属する19の委員会委員の任命又は委嘱に関すること		A (A)	○ 職務の遂行が期待できる適任者の選定に努めた。 ・ 学校評議員 ・ 外部評価委員 ・ 学校医 ・ 学校歯科医 ・ 学校薬剤師 ・ 学校ICT教育推進委員 ・ みやこ町通学路安全対策推進協議会委員 ・ みやこ町学校給食センター運営委員 ・ みやこ町学校給食物資選定委員	今後も学校等のニーズに応え、人材確保と任命及び質的な向上を継続することを期待したい。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町学校給食献立委員</li> <li>・みやこ町社会教育委員</li> <li>・みやこ町公民館運営審議会委員</li> <li>・みやこ町歴史民俗博物館運営委員会委員</li> <li>・みやこ町歴史民俗博物館専門委員会委員</li> <li>・みやこ町文化財保護委員</li> <li>・みやこ町スポーツ推進委員会委員</li> <li>・みやこ町スポーツ推進審議会委員</li> <li>・みやこ町図書館協議会委員</li> <li>・みやこ町子ども読書活動推進計画審議会委員</li> </ul>	
(7) 教科用図書の採択の決定に関する事		A (A)	○ 令和4年度中学校の一部の特別支援学級で使用する教科用図書について採択した。	
(8) 通学区域を設定し、又は変更すること		A (一)	○ 節丸小学校の閉校に伴い、豊津小学校の通学区域を変更した。	
(9) 文化財を指定し、又は指定を解除すること		/	○ 該当なし。	
(10) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事		/	○ 該当なし。	



### Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

子どもたちが、ふるさとで学び、育ちそして大人になった時ふるさと・みやこ町への愛着と誇りとともに、平和を愛する気持ちを持ち続けることが大切だと考えます。

そのため、生命を大切にすることを育てる教育の推進、「みやこ」ならではの文化を活かした活動や、学力の充実・向上、家庭の子育て支援などにより、次世代を担う子供を育てていきます。

また、生涯学習の推進に当たっては、住民一人ひとりのさまざまなニーズに応じて、住民が主体的に、“いつでも・どこでも・だれでも・なんでも”学ぶことができる学習の場づくりや情報提供を行います。

さらに、地域に伝わる歴史や伝統文化を継承し、活用するとともに、住民の主体的な文化・芸術活動を支援し、文化の薫り高いまちづくりに努めます。

※ 評価項目は、「みやこ町第3次総合計画」の基本計画に示された主要事業及び教育委員会で策定した「平成29年度みやこ町教育施策リーフレット」の主要事業をもとに作成しています。

有 効 性	効 率 性	達 成 度	総 合 評 価
事業が目標達成に有効であるかを評価する。	事業が効率的に実施できたかを評価する。	計画通り達成しているかを評価する。	3つの評価項目を勘案し、総合的に評価を行う。
<b>評 価 判 断 基 準</b>			
A 有効である	A 実施できている	A 期待を上回る	A 達成できた
B おおむね有効である	B おおむね実施できている	B おおむね期待どおり	B おおむね達成できた
C あまり有効でない	C 実施できていない	C 期待を下回る	C 達成できなかった

1 学校教育における学習環境の充実

○施策の方針

「自分のよさに気付き、なりたい自分を見つけ、志を持って成長していく子ども」を育てるため、小中連携教育を推進し、国際理解教育の一環として英語教育の充実に努め、今後の複雑化・多様化する教育的ニーズにこたえる教育環境の充実に努めるとともに、学校施設の再編整備・充実、チームとしての学校体制の整備に努めます。また、子どもの成長を見守る環境を作り、子どもの安全確保に努めます。学校給食については、関係機関との連携の下、地場農産物の利用を進め、子どもの健康を守る取組を推進します。

主要施策 ①子どもの教育環境の充実

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
チームとしての学校づくり	心理や福祉など多様な専門家の配置の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールソーシャルワーカー1名を配置し、児童・生徒の問題対応、保護者と教職員に対する支援・相談・情報提供を行った。</li> <li>就学               <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校：6校、17名</li> <li>中学校：4校、10名</li> </ul> </li> <li>○ 教育相談員1名を配置し、学校への巡回指導等を行った。</li> <li>○ スクールカウンセラーを町予算で確保し、学級担任と連携して児童・生徒・保護者等の教育相談に活用した。</li> <li>○ 合理的配慮配慮協力員2名を町予算で雇用し、各小中学校の通級指導教室で学級担任と連携して児童・生徒の指導を行った。</li> <li>○ 特別に支援を要する児童生徒に対する合理的配慮を行うため、発達検査を実施した。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>従前より、心理や福祉の専門家が、学校・保護者・児童生徒の悩みを聞き、良き相談相手となっていることを高く評価したい。</p> <p>学校のニーズや働き方改革の観点から、指導力量のある人材の確保と適切な配置及び増員を今後も継続することを期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援体制は充実しているが、児童生徒を取り巻く環境はますます多様化しており、専門家1名での調整や対応が困難となってきている。今後は、町専属や増員の検討を行い、より充実した体制を図る。</li> </ul>					
	関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行橋市適応指導教室と連携を図り、不登校生徒1名の支援を行った。</li> <li>○ みやこ町要保護児童対策地域協議会での情報交換の会議に、年間6回担当指導主事・教育相談員・SSWが参加し連携が充実した。</li> <li>○ 京築児童相談所や行橋警察署、京築保健福祉環境事務所家庭児童相談員等関係機関との連携がケース会議を通して充実した。</li> <li>○ 特別支援学校、みやこ町療育教室、民間の子育て支援サービス機関との連携を図った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民間の事業所を利用する保護者が増えている。学校のみで解決困難な課題は多くあり、今後も継続した連携の強化が必要である。さらに、関係機関との連携が情報共有だけにとどまらず、具体的な支援につながるような取組が必要である。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>学校が家庭の課題について関わることは限界がある。今後も各機関との連携を深めていただき、子どもが安心できる環境を整えていただきたい。</p> <p>今後も他市や多様な関係機関と連携しながら、効果的な指導・支援の継続を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	家庭・地域との連携強化	<p>○ 「ノーテレビ・ノーゲーム」「ストップスマホ」を各中学校区で実施し、小中で連携した取組として、生活習慣や学習習慣の確立を図った。</p> <p>みやこ町教育委員会主導であった「スマホの使用ルール」を各学校やPTAと連携した取組に移行し、家庭でのルールを作りを実施した。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫ 各中学校区間の取組の温度差もあるが、校区の取組として定着させることで、校区の状況にあった取組の方法や、小学校から中学校までの連続した取組として今後も継続する必要がある。そのことで、小学校と中学校、PTA・家庭との連携がさらに進むと考えている。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	
9年間を見通した教育の充実	小中連携教育の推進	<p>○ H26年度から「小中一貫教育指定校事業」を実施し、H29年度から「小中連携教育指定校事業」として、町内3地区の小中学校及び小学校間の共通した取組を継続して行っている。</p> <p>【共通した取組】 ・小中教職員合同研修会や出前授業、授業研究、学習規律や生徒指導の共通した取組は継続されたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、児童生徒の交流や大人数での研修等は実施出来ていない。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	小中連携のよさを発信しながら、よりよい連携の在り方を創造することを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 町内3中学校区を取組として、各校区の主体的な取り組みが充実してきている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 町内3地区がそれぞれの地域の状況に応じた取組を工夫しており、校区別の主体的な取組が充実してきた。地区間の取り組みの相違が、格差とならないよう事業を進める。</p>					
	基礎学力向上に向けた教育活動の充実	<p>○ 基礎基本の定着と集中力の育成を目指して、町内の全小学校でメソッドタイムを設定、実施するとともに、定期的に検証テストを行った。</p> <p>○ みやこ町予算で小学校1年生から6年生に漢字ドリル「全漢字練習」および算数ドリル「とじ書きこみ計算スーパースキル」を配布し、学力向上ドリル事業を実施した。</p> <p>○ 若年教員の指導力向上のための町主催の授業研修を年間通して行い、学校と連携した指導力の向上を図った。</p> <p>○ 児童生徒に対するきめ細かな指導を実施するため、以下のようなみやこ町雇用教員の配置を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 35人学級実施のための常勤講師 (小学校1名) (中学校1名)</li> <li>・ 35人学級実施のための非常勤講師 (小学校2名) (中学校1名)</li> <li>・ 複式学級対応のための非常勤講師 (小学校4名)</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>小学校において専科制を一部で取り入れているとのこと。このような取り組みが基礎学力の向上につながり、ひいては中学への壁も低くなると思うので、高く評価したい。</p> <p>メソッドタイムの効果を公表しながら検証していきたい。メソッドタイムの在り方についても、効果が出ている学校の取組を共有化していくことも必要である。</p> <p>研修会の内容をどれだけ徹底的に日常の授業改善に反映できているか、その検証がないと研修会が消化行事となってしまうのではないかと懸念が残る。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校の学習支援に係る非常勤講師 (12名) 勝山中4名で週81時間 豊津中5名で週90時間 犀川中3名で週39時間</li> <li>・ 児童生徒支援対応及び児童生徒学習指導 (中学校2名)</li> <li>・ 特別支援学級における学習指導 (小学校2名)</li> <li>○ 子どもの学習支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的理由で塾に行けなかったり、家庭学習習慣がなかったりする生徒の支援を行う。県が事業主体となり勝山校区・豊津校区を、みやこ町が事業主体となり犀川校区で実施している。 中学生を対象とし、週1回宿題や復習など自ら自主学習する時間を設ける。中学校区ごとに公共施設を利用し、指導者を派遣している。 また、緊急事態措置中で公共施設を利用できない時期は、オンラインでの学習指導も希望者へ実施した。</li> </ul> </li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭と連携し、家庭学習の定着を図る。</li> <li>○ 小学校での取組が中学校での生徒の学習基盤として活かされており、継続しての取組が重要である。</li> <li>○ 若年教員の増加に伴い、指導の基礎・基本を身に着ける教育委員会指導主事による研修を継続・充実することが重要である。</li> </ul>					指導力量の高い人材確保のための予算化の継続を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 慢性的な教員不足もあり、町雇用講師の確保が困難な状態が続いている。</li> <li>○ 子どもの学習支援事業の利用者は、徐々に増加してきている。また中学3年生の利用者は志望校合格を達成するなど成果も上がってきている。</li> </ul>					
	心の教育や体力向上の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を各学校に情報を提供した。</li> <li>○ 年間を通じた体力向上の取組「1校1取組」を全小中学校で実施している。</li> <li>○ 福岡県スポーツコンテスト「スポコン広場」みんなでダンスへの中学校からの参加は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育活動が制限されており、応募が出来ていない。 チャレンジランキング大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により低調であった。</li> <li>○ 教育活動全体で行う道徳教育を推進するため「別葉」を作成し活用した。</li> <li>○ 道徳の公開授業を全校で実施し、指導の充実を図った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により実施が出来ていない取組があるが、可能な範囲での取組を工夫して実施していきたい。</li> <li>○ みやこ町若年教員研修で道徳の授業の改善に取り組む。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
時代を担う人材育成のための教育の充実	国際理解教育・英語教育の推進	<p>○ これからの英語教育の流れは英語4技能化が本流になる。小学5・6年生、中学1・2年生を対象とした英語4技能検定「GTEC」の実施により、基礎の英語力が全体的に定着してきている。</p> <p>○ 外国語指導助手（ALT）を小中学校に派遣した。特に中学校では、英語4技能化のための学習指導の支援を行った。 派遣人数：小学校2名、中学校1名 派遣時数：小学校865時間 中学校658時間</p> <p>○ みやこ町中学生スピーチ大会はコロナ禍のため、ビデオ撮影での大会を実施した。京築大会は、3名が参加し、1名が入賞、福岡県中学生英語スピーチコンテストに1名が参加し入賞した。</p> <p>○ 中学3年生対象の悉皆調査「福岡県中学生英検I B Aテスト」の結果、みやこ町全体の平均スコアは720.6ポイントで昨年度と比べて7.7ポイント上回った。 英検3級以上を取得している生徒の割合は43.3%、目標の50.0%には達していない。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後もテスト結果を分析し授業改善を促進し、生徒の英語力の向上を図る。スピーチコンテストに参加する生徒にとどまらず、全ての生徒のスピーキング能力育成の取組が必要である。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	オンラインやビデオでの実施の工夫が行われており、今後の取組が期待できる。



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	キャリア教育の推進	<p>○ 職場体験学習等の活動や交流を伴う取組が出来ていない。</p> <p>○ 小・中学校でキャリアパスポートを活用し、児童生徒の個性を伸長する教育が充実してきた。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ キャリアパスポートを活用した実践が小・中学校の各教科・領域に広がっており、継続実践が重要である。</p>	B (A)	B (B)	B (B)	B (B)	
	郷土を愛する心を育てる教育の充実	<p>○ 地域との連携による「地域のよさ」の発見を目的とした学習の実施が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全小学校高学年による議会傍聴の実施を計画していたがコロナ禍のため実施できなかった。</li> <li>・ 歴史民俗博物館、みやこ町文化遺産、史跡見学等を教科学習の中で実施した。</li> <li>・ 「特別の教科 道徳」の実施により、郷土の伝統と文化を大切にする心の教育の充実を図った。</li> <li>・ 総合的な学習の時間で各校区ごとに地域の産業や先人を取り上げ、郷土への愛着を深める教育を行っている。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	心の教育にも通じると考えるが、みやこ町の偉人・歴史等、郷土に関係した道徳教材の開発を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各校区の特徴を学ぶ学習が創意工夫されている。今後さらに、道徳教育との関連も図りながら「郷土を愛する心」の指導の充実を図る必要がある。</li> <li>○ 総合的な学習の時間の年間計画が地域を教材とした内容に再編成されており、内容充実が図られている。今後、指導方法を工夫していく必要がある。</li> </ul>					
多様な教育ニーズにこたえる教育の推進	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の実態や状況に応じた特別支援学級の設置による特別支援教育の充実を図っている。</li> <li>○ 通常の学級に在籍する特別に支援を要する児童生徒の指導に向けた「通級による指導」を実施している。</li> <li>○ 通級による指導の充実を図るため、合理的配慮協力員2名を配置した。</li> <li>○ 適正就学に向けたきめ細かな教育相談を実施している。</li> <li>○ 築城特別支援学校と連携した「障がいのある児童生徒の居住地校交流」を実施した。</li> <li>○ みやこ町特別支援教育研修会を年2回、通級担当教員研修を1回実施した。また、年間を通じ通級担当教員と教育委員会の協議会を実施し、指導の充実を図った。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>通級指導教室の充実を評価したい。</p> <p>教育ニーズに応じた体制づくりのためにも、協力員等の人材確保と配置及び増員を今後も期待したい。</p> <p>また、庁内の各部署との連携や関係機関との連携充実及び継続を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある児童生徒の合理的配慮は、今後さらに充実を図る必要がある。</li> <li>○ 児童生徒の教育相談の充実と、就学の適正化につなげるための家庭と学校が情報共有できるシステムづくりが必要である。</li> </ul>					
	不登校児童・生徒への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行橋市適応指導教室への入室により、中学校の不登校生徒1名の支援を行った。</li> <li>○ 町雇用のスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、県雇用のスクールカウンセラーを小中学校の別なく児童・生徒・保護者等の教育相談に活用した。</li> <li>○ 不登校の児童生徒数や状況を把握し、情報を学校に伝えることで、学校に注意を喚起し、「マンツーマン対応」や「福岡アクション3」の充実した実施を促した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期欠席及び不登校の児童生徒数が、R3年度は長期欠席が58名でその内不登校48名と多数を示している。新型コロナウイルス感染症対策や臨時休業等、児童生徒の心身のストレスの蓄積も要因の一つと考えられるが、きめ細かな対応等の充実を図る必要がある。</li> </ul>	B (B)	B (B)	B (B)	B (B)	<p>様々な障壁があり、実施することが難しいと思われるが、生涯学習課と連携し、不登校児童・生徒向けに、ヨット・カヌー教室等が開催できたらと考える。</p> <p>一人一人の児童生徒に応じた指導や早期発見・対応など、今後も対策のシステム化を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
安全、安心な給食の配食	衛生管理の徹底と安全、安心な給食の配食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調理員を対象にした衛生研修会を年3回実施した。</li> <li>○ 配膳業務担当者を対象に衛生研修会を4月に実施した。</li> <li>○ 作業マニュアルに沿った作業を行い、随時見直しをすることで、衛生管理の徹底と調理技術の向上を図っている。</li> <li>○ 町内の全小中学校に、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるように二重食缶を使用して配食した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も衛生面に注意し、おいしい学校給食を提供していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	
	地場産農産物の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地場産農作物の利用促進を図るために関係機関との連携を深め、学校給食小委員会で毎月会議を開催し「生育状況」や「出荷時期」の情報交換を行い「みやこ町産野菜」の使用に努めた。</li> <li>○ 毎月19日は「食育の日」にちなみ、地場産野菜・果物を取り入れた学校給食を配食するとともに、「地場産物だより」を発行し、各家庭に配布している。また、毎日、給食の写真とその日の地場産物をフェイスブックで紹介している。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も地場産農産物の使用を推進していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	事業としての成果も上がっており、継続的な取組を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「給食カレンダー」を毎週発行し、毎日の献立内容について知らせたいポイントを掲載することで食育の推進が図れた。</li> <li>○ みやこ町の全小学校に対し、栄養教諭が学校訪問を行い、「バランスのよい食べ方」をテーマに食べ物は大切な働きがあり、嫌いな物も工夫して食べるように意識付けを行った。</li> <li>○ 令和3年11月から生産者の努力や工夫が伝わるよう圃場で動画撮影を行い、毎月19日「食育の日」の給食時間に各学校で配信している。</li> <li>○ 小・中学校長代表、小・中学校のPTA代表、小・中学校給食担当教諭、学校給食センター職員で構成する献立委員会を10回開催し、「旬の食材を使った献立」、「各県の郷土料理」、「各国の料理」を説明することで連携した取組ができた。</li> <li>○ 小学校に入学する新1年生の保護者に「学校給食について」（学校給食の目標、栄養管理、使用食材等）の便りを配付し家庭へ周知ができた。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ H25年6月から毎日の給食内容をフェイスブックに投稿し、保護者に子供がどんな給食を食べているか確認できるようにしている。保護者から、「サラダが美味しかったそうです。」「地元産が多くて安心ですね。」「苦手な物も学校では頑張って食べています。」などのコメントが寄せられた。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も栄養教諭による学校訪問を計画的に実施するとともに、引き続き給食の内容等が適切であるか検討していく。</p>					保護者に向けてフェイスブックを投稿していることは、手数がかかり大変だと思うが、今後とも広報に努めていただきたい。

主要施策 ②子どもの健康を守る取組の推進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
食物アレルギーをもつ児童生徒への適切な対応	食物アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」を活用して、食物アレルギーをもつ児童生徒が、「安心・安全」な学校生活を送ることができるように努めた。</li> <li>○ 学校との情報交換会を地区別に開催し、食物アレルギーをもつ児童生徒の状況等について情報を共有し、学校と連携することで食物アレルギー事故の防止に努めた。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギーをもつ児童生徒へ適切な対応が図られるように、さらに学校との連携や情報の共有を図っていく必要がある。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	

主要施策 ③学校施設の整備・充実

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進		<p>○ 豊津地区学校再編整備事業に関する新校舎建設工事の着手で、令和6年4月開校を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎建設予定地内の町が買収した建物等の解体工事、一部外構工事の完了。</li> <li>・新校舎建設工事の着工。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引続き豊津地区小学校の校舎建設工事の施工。また、みやこ町立中学校及び勝山地区小学校の再編整備にあたり、候補地の選定作業等を行い統廃合を推進する。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	地域住民の理解と協力を得ながら、再編整備を進めていることを評価したい。
I C T教育推進のため電子黒板等の機器の整備の推進		<p>○ 算数と国語の指導者用デジタル教科書を小学校全学年分購入した。</p> <p>○ 児童生徒1台タブレットの整備が完了し、校内での活用を開始した。さらに活用を進めるため周辺機器整備計画を学校の意見を取り入れつつ策定した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ タブレットの持ち帰り学習など今後もタブレットを活用した学習指導を継続していく。</p> <p>○ タブレットを活用した授業に関し、みやこ町が目指すべき水準を示し、各校の活用の平準化を図る必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	より効果的な活用のための環境整備と指導方法、実践事例の積み上げ・拡大とともに、ソフト面での充実を期待したい。



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級及び通級による指導に対して、障害の状況に応じた教材・教具の配置を行った。</li> <li>○ 巡回による通級指導に係る町雇用「合理的配慮協力員」を2名配置した。</li> <li>○ 新1年生の適正就学に向けて、新1年生及び保護者を対象とした就学相談を実施した。 (相談者23名)</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成29年度より開始した中学校の巡回による通級指導の充実を図る。</li> <li>○ 教育環境を充実させるために、教室の整備に取り組む。</li> <li>○ 新小学1年生のうち、就学相談の必要がある児童で、相談に至っていない者もいる。そのような児童をいかに掘り起こしていくか課題がある。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	他部署や関係機関と連携して情報の共有化と対応の多様化を行っていることを評価したい。

主要施策 ④児童・生徒の安全確保

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
通学路の安全確保		<p>○ 小・中学校から通学路における危険箇所対策一覧表を提出していただき、「みやこ町通学路安全推進協議会」を開催して協議を行い、関係機関に対し、危険個所の対策を要望した。</p> <p>R3年度要望件数 49件</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関との連携強化を図りながら、今後も継続して危険箇所の改良に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	
安全見守り活動の充実		<p>○ スクールガードリーダーを各地区（旧町単位）1名の計3名を配置し、登下校時における児童・生徒の安全確保に努めた。また、不審者情報等あった場合は、スクールガードリーダーに連絡し、注意をしながら見守りを行うよう徹底させた。</p> <p>・子ども110番の家登録数 392件 ・安全見守り隊登録数 53件</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スクールガードリーダーがより役割を果たせるように関係機関との連携強化を図る。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スクールバスの適切な活用		<p>○ 事務の効率化や関係機関との連携を密にし、安全でスムーズなスクールバスの運行を行った。</p> <p>○ ・R3年度スクールバス利用者数  犀川小学校 77名  のびのび幼稚園 2名  犀川中学校 2名  伊良原小・中学校 29名  計 110名</p> <p>○ ・部活動の利用状況  勝山中学校 33件  豊津中学校 15件  犀川中学校 18件  計 66件</p> <p>○ 豊津地区の学校再編に伴う節丸小学校の閉校により、節丸校区のスクールバス運行業務委託の体制を整備した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 豊津地区の学校再編に向けて、祓郷小学校区の通学手段を確保し、安心安全に通学するためにスクールバス運行業務委託について検討を行う。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	

主要施策 ⑤家庭教育力の向上

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組		<p>○ 家庭教育力の向上を図るため、家庭教育支援総合推進事業により、保護者等を対象とした講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祓郷小学校 : 参加者 29名</li> <li>・ 伊良原小・中学校 : 参加者 50名</li> <li>・ 犀川中学校 : 参加者 42名</li> </ul> <p>○ 子ども体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>○ 親子星空観望会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 家庭教育支援総合推進事業については、保護者の家庭教育力の向上に一定の効果があり、校長会にて呼びかけ継続して事業を行う。</p> <p>○ 親子での体験活動は、親子の絆を深めるのに一定の効果があり、コロナ感染症が収束した後には、内容等を精査し継続する。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>子どもの体験教室が実施できない状況は残念であるが、今後多様な体験活動を実施していただくことを期待したい。</p> <p>組織的な取組による効果が拡大しており、今後の継続を期待したい。</p>
保護者が主体となり、学校との連携した学力の向上、規範意識の向上		<p>○ 文部科学省・県教育委員会からの「学校における携帯電話の取扱い等について（通知）」により、家庭でのルール作りの啓発を各学校や各中学校区でPTAと連携した取組に移行した。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で学校便りや県等のスマホ等の使い方のリーフレット、ゲストティチャーによる授業等を実施し、生活習慣や規範意識の向上に向けた情報提供を行うよう指導した。</li> <li>○ 「ノーテレビ・ノーゲーム」「ストップ・スマホ」など町内で統一から各中学校校区での共通した取組に移行し、各校区での状況に応じた、家庭での指導が行いやすい取組を行った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者・児童生徒へスマホやSNSの危険性を各種リーフレットで周知し、ゲストティチャーによる授業等を行っている。今後は、文部科学省や県教委の通知の主旨を理解し、適正な使い方に向けた、学校・家庭での取組みに移行する必要がある。</li> </ul>					
発達段階に合わせた連携・教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 療育教室(たんぽぽ教室)の療育指導者から新就学児童の発達検査の結果の報告を受けた。</li> <li>○ 子育て・健康支援課から保育所巡回等での様子の報告を受けた。</li> <li>○ 関係各機関の情報を学校へ伝え、新就学児童への配慮や特性の把握に活用した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関と情報の共有を図りながら、連携をより強化して、適正な就学ができるように努める。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	特別支援に係わる児童生徒の課題について、関係機関と連絡・連携していることを評価したい。

## 2 生涯学習のための環境整備

### ○施策の方針

「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」学ぶことができる学習機会を提供するため、公民館活動の充実を図るとともに、社会教育委員会議や公民館運営審議会で、本町の生涯学習の在り方について協議します。また、生涯学習活動の充実のため、広報誌等を通じた生涯学習情報提供の充実を図るとともに、各地域の優れた技術や経験を持った人材活用や、社会教育団体などの活動を支援します。

### 主要施策 ① 「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」 学ぶことができる学習機会の提供

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
ライフステージに応じた学習機会の提供		<p>○ 高齢者大学を次の5地区で開催した。コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数を削減せざるを得なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山たちばな大学 年6回開催、申込者51名 対前年度10名増</li> <li>・犀川地区ふれあい大学 年4回開催、申込者58名 対前年度38名減</li> <li>・城井地区さわやか大学 年4回開催、申込者56名 前年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。</li> <li>・伊良原地区ふれあい大学 年2回開催、申込者49名 前年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>高齢者大学、女性学級の統合を考えるとのことであったが、タイムスケジュールを具体的に考える必要があると考える。</p> <p>受講生が望んでいる学習内容を掘り起こすことも大切だが、教育施策に則った学習も大切であるとする。</p> <p>図書館には図書司書、博物館には学芸員が配置されているように、社会教育にも社会教育主事を配置していただきたい。また若年層にも資格を取得させ、社会教育の目的や課題に取り組んでいただきたい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊津平成学級 年4回開催、申込者33名 対前年度7名減</li> <li>○ 女性学級を次の3地区で開催した。コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数を削減せざるを得なかった。</li> <li>・勝山女性学級 年3回開催、申込者31名 対前年度4名減</li> <li>・犀川女性学級 年2回開催、申込者51名 対前年度12名減</li> <li>・豊津女性学級 年3回開催、申込者34名 対前年度1名減</li> <li>○ ふれあいスポーツ教室 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 申込者数が年々減少傾向にあるため、統合等も視野に入れて検討していく必要がある。</li> <li>○ 社会教育指導員や地域活動指導員を中心に講座内容の充実を図り、多くの方が参加したくなるように、引き続き、魅力のある学級運営に努める。</li> </ul>					<p>コロナの影響を受けた事業であるが、その中でもできることを実施していることを評価したい。</p> <p>地域からの期待度も大きいので、集合型・対面型の実施から分散型・配信型へ多様な方法の選択を期待する。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ コロナ禍においても、オンライン技術などを利用したリモート開催など事業実施のための方策を検討する必要がある。					
自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供		<p>○ 文化健康講座            コロナウイルス感染症拡大防止のため開催期間や実施回数を削減した。            9月～翌年3月 21講座を開催、            登録者数240名            対前年度48名増</p> <p>○ パソコン講座            コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>○ 外国語講座            英語、韓国語、ベトナム語を対象に実施。            英語7名、韓国語14名、ベトナム語6名</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、社会教育指導員や地域活動指導員を中心に町民のニーズに合った講座内容の充実を図り、魅力のある講座の開催に努める。</p> <p>○ 高度な内容を要望する声がある講座については、自主サークルへの移行を促進する支援を検討する。</p> <p>○ コロナ禍においても、オンライン技術などを利用したリモート開催など事業実施のための方策を検討する必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画		<p>○ 公民館活動の事業紹介や展示 公民館活動を紹介し、広く参加者を募るため、講座や大学などの開催状況がわかる展示を行い、参加を促した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ コロナ禍において、不特定多数の方が参加するイベントの開催は困難である。 イベントに捕らわれずに公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画を促せる方策を検討する。</p>	A (A)	A (A)	B (C)	B (C)	中止するのではなく、多様な方法を模索して少しでも開催したことを評価したい。
人権教育の推進		<p>○ 例年8月に開催している全体研修会はコロナウイルスの影響のため、1月に延期しオンライン形式で開催した。</p> <p>○ みやこ町人権教育研究会事業として、予定していた学校教育部会及び社会啓発・企業部会主催の研修会は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。進路学力保障部会は実施した。</p> <p>○ 「2021年度実践交流会レポート集」を作成し、これを基に各学校において研修を行い、各学校の取り組みの共有化が図られた。</p> <p>○ 毎年各小中学校や役場職員等が参加していたNPO法人主催の人権文化フェスティバルは、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 人権男女共同参画室と連携し実施している7月の「福岡県同和問題啓発強調月間」に関連した事業はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 11月に行っている街頭啓発活動は実施したが、12月に実施している「人権のつどい」は中止した。 人権啓発チラシ「人権だより」は年4回発行し、町内全戸に配布を行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 特定職業従事者（教職員、社会教育関係職員等）としての自覚を持ち、人権感覚の育成を図る。</p> <p>○ 若年教員や新規採用職員の人権・同和教育の基本的認識を深める研修の充実を図る。</p> <p>○ 人権教育研究会会員に対し、県同教及びNPO法人等主催の研修会や講座等への参加を促していく。</p> <p>○ 女性学級や高齢者大学等の学習機会を活用し、人権教育や啓発活動に努める。</p>					

主要施策 ②生涯学習環境の整備

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
生涯学習情報提供の充実		<p>○ 町広報・防災行政無線・ホームページ等を活用し、高齢者大学、女性学級、文化健康講座等の情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 多くの方に参加していただけるよう、広報誌やホームページ・チラシの配布方法等の工夫に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	スマホやタブレットなどのICT機器の活用による情報の共有化を期待したい。
社会教育団体等への支援と活動の活性化		<p>○ 町子ども会育成連合会・青少年育成町民会議では事務局として参画するとともに、活動助成金等の支援を行っている。</p> <p>(主な子ども会事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジャタ大会、ソフトバレー大会、カルタ大会等多くの事業は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>(青少年育成町民会議事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間巡回：コロナ禍により中止。</li> <li>・花いっぱい運動：12小中学校、9保育園・幼稚園を対象に実施。</li> </ul> <p>○ 町婦人会・諫山校区アンビシャス広場等社会教育団体に活動助成金等の支援を行っている。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	<p>支援は大変難しいと思われるが、子ども会も減少の一途をたどっている現在、行政の支援が重要になっている。引き続き支援・バックアップをお願いしたい。</p> <p>子ども会活動の充実・発展・継続のための工夫やアップデートが今後も必要になってくる。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近年、少子化等の影響により、子ども会の加入者及び子ども会事業の参加者が減少している中、より魅力ある子ども会活動の実現に向け、子ども会役員と連携し、事業内容等の見直しを検討していく。</li> <li>○ 地域の活性化等につながる社会教育団体の活動については、引き続き支援していくが、今後の団体の在り方や町の支援等については、団体役員等と協議していく。</li> </ul>					
地域人材を活かした学習内容の充実	アンビシャス広場の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元ボランティアが中心となって行っている諫山校区アンビシャス広場の活動は、コロナ禍において縮小せざるを得なかったが、町として金銭的・人的支援を行っている。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ボランティア等指導者不足が見受けられるため、引き続き、事業の必要性を理解する人材の育成が必要である。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	
	通学合宿事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通学合宿 新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営スタッフが不足しているため、事業の必要性を理解する地域ボランティア等の育成が必要である。</li> </ul>	A (A)	B (B)	C (C)	C (C)	子どもの生活体験が減少している中、通学合宿等生活体験ができる機会を、これからも設けていただきたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進		<p>○ 高齢者大学・女性学級、文化健康講座等の会場として文化施設「サン・グレートみやこ」を利用している。</p> <p>《課題・今後の方向性》 図書館・博物館や社会教育団体等と連携を図り、文化施設の有効活用に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	図書館、公民館、体育館（B & G）、博物館が協働した事業ができることを期待したい。
社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し		<p>○ 町が作成した公共施設再配置計画に基づき、関係各課で協議を行い、町の方針について関係団体や利用者に説明を行った。</p> <p>（令和4年度廃止施設） ・本庄地区学習等供用施設 ・節丸地区学習等供用施設</p> <p>《課題・今後の方向性》 ○ 町の方針に沿って、廃止するに施設については、引き続き、関係機関と十分に協議し、利用者等へ説明及び周知徹底に努める。残す施設については、令和4年度長寿命化計画を策定する。また、施設廃止後の跡地利用についても、効果的な利用を図るため、関係地域・関係団体・関係各課等と協議していく必要がある。</p>	A (A)	A (B)	A (A)	A (A)	計画的な実施と今後の方向性を明確に示し、事業を進めていることを評価したい。

### 3 図書館の整備・充実

#### ○施策の方針

子どもから大人まで広く町民に親しまれ、利用される図書館を目指し、地域の実情に即した資料の充実と読書環境の整備に努めます。また、学校図書館をはじめ、関係機関やボランティアと連携した子どもの読書活動を推進します。なお、公共施設再配置計画に基づく図書館再編後も、引き続き各地域で図書館サービスを提供できるように対策を講じます。

#### 主要施策 ①図書館の利用促進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
中央図書館、分館、移動図書館の連携強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中央図書館と分館の休館日を異なる曜日とすることで、いずれかの図書館が常に開館している状況を維持している。</li> <li>○ 図書館間の配送システムにより、図書の搬送や予約資料の速やかな提供ができています。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設再配置計画による図書館再編後も関係課や関係機関と連携を取りながら、各地域住民へのサービス提供に努める。</li> </ul>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	<p>図書館が本館と分室に再編されることであるが、レファレンス機能が低下することのないようにお願いしたい。</p> <p>インターネットを活用した住民へのサービス提供を評価したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
インターネットなどを活用した広報活動の充実		<p>○ ホームページやフェイスブックを活用し、事業の周知に努めた。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館中に予約資料に限り貸出を行った。これを機にインターネットからの予約件数が増加した。 ・令和3年度 3,677件 (令和2年度 2,551件)</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ インターネットでのサービスを積極的に周知するとともに、レファレンス等、新たなサービスについても検討する。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	インターネットによるサービスの更なる充実を期待したい。また、宅配サービスなども視野に入れたシステムの構築を期待したい。
子ども読書活動の推進		<p>○ 第3次みやこ町子ども読書活動推進計画を策定し、関係機関や団体が連携、協力して子どもの読書環境を整備していくことを確認した。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 子ども向けイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会 年齢別に読書ボランティアや図書館職員によるおはなし会を実施。 参加者 122名（前年度 138名）</li> <li>・子ども読書まつり 特別展示「図書館に花をいっぱいさかせよう」</li> <li>・夏休みイベント 「図書館ビンゴ」 参加者149名 「夏休みチャレンジ教室 勾玉をつくろう」 参加者33名</li> <li>・園児対象図書館見学会 年長児対象の館内見学とおはなし会 参加園 4園</li> <li>・移動図書館 小学校 2,264冊（前年度 3,516冊） 保育所等 3,619冊（前年度 4,323冊） 新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館中は、移動図書館の代わりに配本を実施した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係課や関連団体と連携を取りながら、子どもの読書活動を支援する。 特に読書離れが顕著な中高生の読書活動の推進に努める。</p>					<p>各団体が利用する際、貸本だけではなく、ストーリーテリング、ブックトークをしていることを高く評価したい。</p> <p>今後デジタル絵本などの活用にも期待したい。</p>



主要施策 ②図書館を活用した地域文化活動の促進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
読書ボランティア等の人材の育成・確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書ボランティア養成事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書ボランティア交流会 1回</li> <li>参加者 12名</li> </ul> </li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書ボランティア活動を支援するとともに、新たな人材の育成に努める。また、ボランティアが町内各地で活動できる仕組みを検討する。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (C)	B (C)	人材確保と育成の継続を期待したい。
ブックスタート事業の推進	<p>※ブックスタート事業…自治体が行う0歳児健診等で、絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。</p> <p>※ステップ1ボックス事業…ブックスタート事業のフォローアップで12ヶ月授乳幼児を対象とした活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4カ月、12カ月の赤ちゃんとその保護者に読み聞かせ体験とともに絵本を配付。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布者 ※R4.6時点</li> <li>4カ月児 86名 (対象者 89名)</li> <li>12カ月児 84名 (対象者 96名)</li> </ul> </li> <li>○ 赤ちゃん絵本紹介冊子「赤ちゃんから楽しめる絵本」を作成。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子が利用しやすい環境づくりと育児関連書や乳幼児向け絵本の充実などによる図書館の利用促進を図る。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (B)	A (B)	素晴らしい事業であるため、今後も継続・充実を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
図書館を活用した各種行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書週間関連事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読んで感想リレー 利用者が本の感想を自由に書くコーナーを設置</li> <li>・読書エッセイ募集 応募者 8名</li> <li>・図書館 de コンサート 育徳館高校管弦学部のミニコンサート 実施回数 4回 聴衆191名</li> </ul> </li> <li>○ ブックリサイクル 除籍資料を提供。常設コーナーを設置。</li> <li>○ テーマ展示 季節やその時期の関心時をテーマに資料展示を実施。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、図書館に足を運ぶきっかけとなるイベントを企画、実施する。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	図書館の魅力を充実させる取組であり、今後も継続して欲しい。
博物館と連携した文化活動（ギャラリー利用）の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出張博物館 博物館所蔵品の一部を展示</li> <li>○ 博物館イベントに関連した特集コーナー 企画展の内容に合わせた資料展示</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 博物館の企画と連動した企画を実施するなど連携を図る。</li> </ul>	A (A)	A (B)	A (B)	A (B)	

#### 4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用

##### ○施策の方針

文化財を町の重要な資源として保存・継承するために、必要な整備や文化財保持・継承団体への支援を行うとともに、老朽化した施設・設備の再整備を図ります。また、郷土の歴史を活かした教育や地域振興を目指し、歴史文化遺産を前面に出した展示を行います。さらに、博物館が歴史文化遺産を活用した交流拠点となるために、積極的に県内外他市町村との交流・連携を進めます。

##### 主要施策 ①町内の文化財の有効活用

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
国府跡公園・国分寺跡公園等の有効活用		<p>○ コロナウイルス感染症拡大防止のため、部分的な利用制限を行ったが、憩いの場として一定の利用があり、本町ならではの文化財を活用した地域づくりを進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前国府跡公園 隣接する直売所「国府の郷」利用者やコロナ下における子ども世帯を中心とした関係者の、安全・安価な休憩・レク施設として利用されている。</li> <li>・豊前国分寺跡公園 三重の塔まつりは、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ※関連催事の少年少女俳句大会は実施</li> </ul> <p>○ 国府跡・国分寺跡の両歴史公園は、清掃や軽微な日常管理について地元区へ委託しており、地域住民と協働して管理・愛護する体制を継続できている。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	<p>各種団体より案内や説明を求められたとき、積極的に応じていることを高く評価したい。</p> <p>今後ボランティアを育成し、このような活動を今以上に対応することを期待したい。</p> <p>利用者の期待に沿うような活用と整備の継続を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ その他の文化財についても、地元等との協働管理と有効活用（公開・広報顕彰等）を心掛け、歴史・文化遺産豊かな本町の特質のアピールに努めた。主な協働管理が行われる文化財は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永沼家住宅</li> <li>・勝山地区古墳群（綾塚古墳ほか3件）</li> <li>・小笠原文庫</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、まつりについては、事務局を担う行政に業務が集中する傾向がみられることから町の政策課題として再検討を行い、内容や形態の見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重塔まつり（現状維持・工夫）</li> </ul> <p>○ 経年劣化等がみられる文化財のうち代表的なものについては、所有者等とも連携・調整のうえ、有効な補助メニューの活用や長期展望を踏まえた維持管理に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前国分寺跡（排水環境整備）</li> <li>・永沼家住宅（屋根部経年劣化）</li> <li>・当麻曼荼羅（経年劣化）</li> </ul> <p>○ 手軽な公開・活用が困難な文化財については、対象物件のデジタル資料化等により、インターネット上での公開が可能となる環境整備を進める。</p>					<p>計画的な整備の実施に期待すると共に、デジタル化は必須になるため、その環境整備と対応を早急に行うことを期待したい。</p> <p>文化財や伝統行事・まつりなど、道徳科・社会科の教材化ができないか、子どもたちへの郷土愛や愛着を深めるふるさと学習の教材化を検討したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化財解説・案内板等の設置		<p>○ 主として現地への誘導を図る案内板は、観光まちづくり課と連携し、同課のサイン事業計画の指針と調整しつつ、協働・支援の形で実施した（主として犀川地区）。</p> <p>○ 老朽化した解説板については、現地確認の上、緊急性の高いものから改修を行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 案内板については、引き続き観光まちづくり課とも連携しながら、適宜新設や更新・再整備を行う。</p> <p>○ 解説板については、指定文化財を中心に、それ以外でも公開環境が整うものについては今後、計画的かつ継続的に設置を進めると共に、必要に応じて再整備や更新を進める。 また、設置については対象文化財の公益性や実情に配慮し、文化財保護委員会と作成した指針を目安に整備を進める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	他課や部署との連携・協働を評価したい。

主要施策 ②歴史民俗博物館の事業振興と機能強化

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
博物館友の会の運営と事業展開		<p>○ 博物館友の会は博物館と協働して各種の文化・学習事業を展開しているが、昨年と異なりコロナ下にあっても以下事業を展開することができた。</p> <p>令和3年度における登録会員数 139名（前年比▲2名）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業（作文コンクール）</li> <li>・レク事業（歴史たんけんウォーク） 「晩秋の伊良原ダムウォーク」</li> <li>・愛護活動（三重塔すす払い）</li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 活動や事業を情報発信し、新規会員、特に若年層の会員確保を促していく。 また、コロナ下でも推進可能な事業メニューの情報収集や開発に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (C)	B (C)	
博物館ホームページを通じたの情報発信		<p>○ 基幹ページの運営・管理とともにサイドメニュー「みやこ町文化遺産」を拡充し、町内や博物館の文化遺産・関連催事の情報発信に努めた。</p> <p>基幹ページについても「資料整理の現場から」など、館の活動や情報を発信するコーナーの新設や新着情報の更新に努めるなどして、魅力あるHPづくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加メニュー数2件（「資料整理の現場から」など）</li> <li>・PV数496,717 (対前年度比175%)</li> </ul>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 機能性の高いページへの改装と、情報更新頻度の向上や操作可能人員や体制の加増援等で、HPの閲覧や利用の増進を図る。</li> </ul>					
全国に誇る歴史文化遺産の保存と活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対外知名度の高い資料（小笠原文庫・小宮豊隆資料・堺利彦資料など）の貸出を含む特別利用に対応するとともに、収蔵資料中の経年劣化や保全策が必要な資料は補修（高規格修理／小宮資料「三四郎」署名本）や保全対策（複製・翻刻制作や高精細記録化等／岩垂邦彦資料）を行った。</li> <li>○ 他の資料についても貸出を含む各要望層の特別利用申請に対応し、資料の利活用促進に努めた。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料の利活用促進のための閲覧や情報・所在等検索システムの制作・整備や、それに対応できる整理作業や高機能収納設備・専従員配置などの環境整備を目指す。</li> <li>○ 資料の恒久的保存のための計画を作成し、継続的な資料管理を行う。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	常に利活用促進のために保存状態の確認や補修などを行い、よい状態に管理できていることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
他の博物館等との連携・交流		<p>○ さまざまなゆかりのある博物館や施設・機関・地域と、資料や情報・人的資源等の交流・連携を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漱石山房記念館（東京都/貸出） 企画展「永遠の弟子 森田草平」展</li> <li>・ 山口市歴史民俗資料館（山口市/貸出） 特別展「西郷家文書」展</li> <li>・ 行橋市歴史資料館（行橋市/貸出） 企画展「弥生の墳墓」展 ほか</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き交流の増進に努め、機運醸成の際には記念事業の実施等を目指す。</li> <li>○ 自館からもゆかりの館へ連携・調整を働きかけるなどして、交流事業（企画展・講演、シンポジウム事業等）の展開を目指す。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	他地域への啓発を図りながら交流・連携の充実を評価したい。



主要施策 ③遺跡・文化財の整備推進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
遺跡を保護するための各種調査、記録保存		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種開発事業に対応した保存対応の調査や立会・調整作業等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試掘・確認調査 1件（前年度 1件）</li> <li>・ 工事立会 7件（前年度 3件）</li> <li>・ 本発掘調査 0件（前年度 0件）</li> <li>・ 照会件数 106件（前年度102件）</li> </ul> </li> <li>○ みやこ町発足後に実施された国庫補助事業に係る発掘調査成果報告書作成のための整理・刊行事業計画〔第2次：R2～R7〕に着手し、「大久保向原古墳群」「三ツ塚古墳群（第1次）」の調査報告書を刊行した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遺跡や開発への影響を最小限にとどめる対応・調整を引き続き進めていくとともに、分布地図に代表される埋蔵文化財の所在情報の把握や更新に努める。</li> <li>○ 作成した報告書整理・刊行事業計画〔第2次〕に基づき、引き続き調査成果報告書の刊行に努める。</li> <li>○ 調査成果の公開・活用に向けた取り組み（企画展や各種の学習支援・広報活動）を行う。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
遺跡・文化財の適切な整備・活用		<p>○ 遺跡・文化財のうち、経年劣化や周辺を含めた環境改善等必要なものについて、補修や環境改善事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡等〈不動産系文化財〉 永沼家住宅（屋根棟部修理工事） 甲塚方墳（繁木類の伐採・撤去）</li> <li>・美術・工芸・典籍等〈動産系文化財〉 曼陀羅寺蔵絹本著色当麻曼荼羅図 （修理／法人事業〔事業支援等〕） 皆見大塚古墳出土品 （補修／県事業〔事業支援等〕）</li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や所有者等の協力の下、引き続き有効かつ効率的な対象物件の恒久的保存に必要な施策や管理・環境整備を進める。</li> <li>○ みやこ町遺産の具体的総合行政計画と位置付けられる「文化財保存活用地域計画」の策定に向けて調整・協議等を進めていく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	経年劣化は想定内のため、計画的な補修を期待したい。また、国や県との連携を計らいながら、管理や環境整備を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
伝統文化・遺産の保存、継承に向けた活動及び関係団体・機関等の支援		<p>○ 毎年、指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、各種補助・支援・協力等を行い、文化財の保存・継承、顕彰愛護活動を支援している。</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、伝統文化公開事業は、全て中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存団体 福岡県豊前神楽保存連合会 生立八幡宮山笠保存会 千女房桜を守る会 黒田楽保存会</li> <li>・文化財愛護団体 みやこ町郷土史研究会 豊津郷土史会</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、引き続き支援を行う。また、支援については、補助金に限らず、関係者ニーズや公益性・有効性のあるものについて内容や方法を検討しながら進めていく。</p> <p>○ 民俗文化財については、急速な社会情勢の変化に鑑み、その保存・継承に向け学識者を交えた学術調査とともに映像・音声等も活用した記録保存事業の実施が望まれる。</p>	A (A)	A (A)	C (C)	C (C)	<p>コロナの影響で実施されない事業については、再開できる条件や可能性を検討することを期待したい。</p> <p>また、関係機関や団体との連携強化の継続を期待したい。</p>

5 文化芸術振興活動の推進

○施策の方針

文化協会を中核とした文化的活動への支援・共同体制の強化を図るとともに、各文化団体の自主性・独立性を推進するための必要な措置・支援を行います。

主要施策 ①地域文化を活かした文化振興事業の推進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化協会等による文化・芸術活動の支援		<p>○ 毎年、文化協会が主催する事業や活動に対し補助事業による活動支援を行うとともに、公開事業や町との協働事業には人的・物的な支援を行い、同会を介した町民向け文化・芸術活動の振興に努めている。</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、関連事業・催事は、全て中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花しょうぶまつり記念発表会（6月）</li> <li>・文化月間記念発表会（10月）</li> <li>・産業祭記念発表会（11月）</li> <li>・文化芸能フェア（3月）</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 文化協会が行う町民等一般への公開・還元を目的とする公益性の高い事業については引き続き支援・協力を進めていく。</p> <p>○ 会員の高齢化等による会員数の減少化傾向がみられることから、新規会員の加入促進に努めるとともに、会の新たな魅力発信や事業・組織改変等について、多方面から検討する。</p> <p>○ コロナ禍においても活動を支援できる体制づくりについて、検討していく。</p>	A (A)	B (B)	C (C)	C (C)	継続的な支援や協力を評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等の支援		<p>○ 文化協会が、構成単位となる各文化団体や教室はもちろん、町内外の文化芸術団体・関係機関等とも積極的に交流や調整を担う主体として機能できるよう、組織運営を含め支援や調整を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 文化協会の事務は、現在町の会計年度任用職員が行っているが、協会がより自主的な運営へ移行できるよう、今後の支援の在り方について、事例研究や情報収集を進めると共に、協会とも協議・調整を進め、より良い運営形態を模索する。</p> <p>○ 文化協会に属さない個人や団体も参加が可能な文化催事やその支援の在り方等について検討する。</p> <p>○ 文化振興に係る指針や規則等の制定について検討する。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	文化協会の自主・自律を促すためにも、今後の在り方を検討する必要がある。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施		<p>○ 町内外から多くの児童生徒が作品参加する文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化のみやこ作り記念コンクール(10月) 作品募集のみ(表彰式を行わない)で実施 作品は10月中、博物館にて展示</li> <li>1) 絵画コンクール 応募総数: 1, 126点(30校) 最優秀賞を博物館入場者の投票で決定(前年度 中止)</li> <li>2) 作文コンクール 応募総数: 23点(8校) (前年度 中止)</li> <li>・塔まつり記念少年少女俳句大会(2月) 作品募集のみ(表彰式を行わない)で実施 応募数: 33校/8, 090句 (前年度34校/8, 864句) 大会特選句を「小宮豊隆賞」「三四郎賞」「蓬里雨賞」とし、みやこ町ゆかりの先人を顕彰・周知する機会となっている。</li> <li>・一般俳句大会(成人向け)も作品募集のみ(表彰式を行わない)にて実施</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も引き続き学校への積極的な情報提供や周知・顕彰を続け、伝統文化を活かした文化振興事業の推進に努める。</li> <li>○ 一般・成人向けの事業等、年齢・性別等に関わらず、参加・楽習できる伝統文化やその遺産を活かした事業の推進に努める。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>児童生徒だけでなく一般の参加者にも機会を広げたことを評価したい。 今後も多様なジャンルや参加者の年代を広げていく体制の確立を期待したい。</p>

## 6 スポーツ・レクリエーションの推進

### ○施策の方針

スポーツ・レクリエーション活動は、住民相互の交流を図り、体位の向上、健康維持、介護予防等、年齢性別を問わず重要な効果をもたらします。総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員等による活動を通じて、誰でも、いつでも気軽に参加することができるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

また、体育協会を中心に競技スポーツの推進に努めます。トップアスリートの招へいを行うなど競技力の向上を図っていきます。

加えて、レクリエーション指導者や競技スポーツ指導者の資質向上に向けた研修会などに取り組みます。

さらに老朽化が著しい既存のスポーツ施設の長寿命化計画個別計画を策定し、施設の適正な維持管理に努めるとともに、住民の様々なニーズに応じたスポーツ活動が行える環境を作ることで、生涯を通じたスポーツへの参加ができる仕組みづくりに取り組みます。

### 主要施策 ①住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ推進計画の策定		<p>○ 令和2年度に作成した第3次みやこ町総合計画をスポーツ振興計画と位置づけ、誰でも、いつでも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進していく。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後とも、みやこ町総合計画に基づき、スポーツ推進審議会において、スポーツの推進について意見交換を行い、スポーツの振興を図る。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	
子どもと高齢者の体力づくりの推進		<p>○ 緊急事態宣言等の影響でほとんどの大会や行事が中止となった。水泳大会1回、ソフトボール大会4回、ミニバスケットボール大会1回、バレーボール大会2回、町民ウォーク大会を感染防止対策を行い、体育施設の利用制限を遵守した上で実施。</p>	A (A)	B (B)	C (C)	C (C)	実施可能な事業や大会を実施したことを評価したい。今後もウィズコロナへの対応を図りながら、事業や大会等の積極的な開催を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 町立保育所年長・年中を対象にしたリズム体操・水泳教室は、水泳は中止としたが、リズム体操は指導員が保育所に出向く方法で18回中5回分実施する事が出来た。</p> <p>○ B&amp;G杯としているソフトバレーボール大会や剣道大会は中止</p> <p>○ スポネットTOYOTSUでも緊急事態宣言等の影響で多くの事業が中止となったが、ジュニアプログラム年間12回、一般・シニアの体力アップ運動教室を年間37回実施。水中運動教室、クラブ活動指導者の派遣については実施できなかった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後もスポネットTOYOTSUや体育協会・スポーツ推進委員等関係機関と連携し、より多くの町民が参加できるよう多種多様なスポーツ・レクリエーション機会を提供していく。</p>					
誰でも、いつでも気軽に参加することができるスポーツ・レクリエーション活動の推進	海洋性スポーツの普及	○ 海洋性レクリエーション体験教室は全て中止	A (A)	A (A)	C (C)	C (C)	貴重な体験の場であるので、二年連続の中止で普及が止まることがないようにしていただきたい。



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和元年から一部委託により指導者等の人数が減少したことにより、安全面を考え教室1回あたりの参加人数を縮小せざるを得なかったが、経験豊富な業者に一部委託をしたことにより、指導力の向上が図られた経緯があり、2年間実施できていないが、今後も同様の体制で継続していきたい。</li> </ul>					
	競技スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技スポーツは、主に体育協会加盟クラブが競技大会や審判講習会等を開催している。</li> <li>○ みやこ町さわやかマラソン大会兼京都郡ロードレース大会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> <li>○ 福岡県民体育大会は、令和3年度筑豊地区開催予定であったが中止。</li> <li>○ 体育協会などが実施主体である豊津陸上競技場を利用した陸上競技大会「白川力杯」は中止。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技スポーツの振興を図る体育協会の組織体制の強化及び活性化を図るとともに、支援体制について協議していく。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ推進委員等によるニュースポーツの普及・推進		<p>○ スポーツ推進委員による「みんなで楽しく遊ぼうデー」を犀川体育館、「ふれあいスポーツ教室」を勝山体育館でそれぞれ、毎月1回実施し、ニュースポーツの普及・推進を図っている。新型コロナウイルス感染防止施策として令和3年度は遊ぼうデー、ふれあいスポーツ教室ともすべて中止。</p> <p>○ スポネットTOYOTSUとの連携によりジュニアプログラムやシニア体力アップ事業などに参画するとともに社会教育事業である子ども体験教室では指導者として協力した。令和3年度は社会教育事業への派遣はなかった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係各課・機関等と連携し、引き続き、誰もが参加できるニュースポーツの普及・推進に努める。</p> <p>○ スポーツ推進委員も高齢化傾向にあるため、若手の推進委員の加入促進を図る必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	早急には無理だと思うが、スポネットの活動が、みやこ町全体に広がることを期待したい。
ホームページの管理・運営事業		<p>○ 施設管理状況の変更内容等の更新やイベント等の案内・結果等の情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後とも迅速かつ的確な情報提供に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	情報提供は必要不可欠なことであり、今後も定期的・継続的な情報提供を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツフェスタの充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染防止のため、総合開會式をはじめすべて中止となった。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツフェスタとして根付きつつあるので、当面は継続していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	C (C)	C (C)	
アダプテッド・スポーツの取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みやこ町身体障がい者福祉会、子育て・健康支援課、生涯学習課の共催のフライングディスク大会は新型コロナ対策で中止した。</li> <li>○ スポーツ推進委員会を中心に障がい者や高齢者のスポーツの指導者講習会等に参加し指導者の養成に取り組む計画であったが、新型コロナ対策で派遣しなかった。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者向けのスポーツメニューへの対応力を強化し、機会を逃さずに障がい者スポーツの普及振興を図る体制の構築に努める。</li> <li>○ スポーツ推進委員会やスポネットTOYOTSUと連携して、障がいのある方を対象とするスポーツ教室の開催について検討する。</li> </ul>	A (A)	B (B)	C (A)	C (A)	誰もが楽しくスポーツができる環境を整えるために、アダプテッド・スポーツに前向きに取り組んでいることを、高く評価したい。
	※アダプテッド・スポーツ (adapted sports)…障がい者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに作られた運動やスポーツ・レクリエーション全般のこと。						

主要施策 ②競技スポーツの振興

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
体育協会によるチャンピオンスポーツの実施支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育協会が主催により、陸上、卓球、バレーボール、軟式野球、ソフトボール、水泳、ソフトバレーボール、サッカー、空手、剣道、バドミントン等のチャンピオンスポーツ活動を支援（大会助成、施設使用料の減免等）している。</li> <li>○ 京都郡大会や県民体育大会などに町代表選手の派遣を行っている。（令和3年度はすべて中止）</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染状況により全国大会出場助成金は対象者がいなかった。</li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、体育協会の組織体制強化及び活性化を図るとともに、チャンピオンスポーツへの支援体制について体育協会と協議していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
オリンピック選手などトップアスリートの招へい		<p>○ 柳川市・みやま市・みやこ町・築上町と福岡県、日本オリンピック委員会、オセアニアオリンピック委員会と締結した2020年東京オリンピック事前キャンプ実施に係る基本合意書に基づき、3年度は開催延期となったオリンピックが開催され、オセアニアの3選手の事前キャンプを実施した。しかしながら、住民との交流等が全てオンラインとなり、せっかくの機会を活かすことができなかった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ オリンピックの事前キャンプ事業は令和3年度で終了。コロナ禍により十分な効果が得られなかった。東京オリンピックのレガシーを活用することも事前キャンプの大きな目的であるが、オセアニアの小国が自国の費用でみやこ町との交流を続けることは考えにくい。今後も機会があればトップアスリートの招聘等で住民のモチベーションアップを図ってきたい。</p>	A (A)	A (A)	B (C)	B (C)	関係機関や団体の協力を得ながら、トップアスリートの招聘や交流の継続を期待したい。

主要施策 ③既存の体育施設の有効活用と利用促進

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
複合的な活用を考えたスポーツ施設の活用		<p>○ 豊津運動公園内には第4種陸上競技場、体育館、プール、トレーニングセンターなどがあり、さわやかマラソン大会や隣接の菖蒲園などのまつりにも利用されている（令和3年度全て中止）。昨年度に続いて豊津運動公園の樹木伐採により、見通しを良くしウォーキングなど公園利用者の利便性を図った。</p> <p>○ 犀川体育館・中央公民館・周辺駐車場を利用した産業祭は中止。</p> <p>○ 犀川運動公園の野球場・多目的グラウンドが、毎年少年サッカー大会やソフトボール大会など京築や近郊大会の主会場となっている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係各課・機関と協議検討を行い、複合的な施設の有効活用に努める。</p>	A (A)	A (A)	C (C)	C (C)	いつでも使用できる状態を保つために、計画的な整備の実施を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
海洋性スポーツ・レクリエーション施設（B&G財団）の利用促進		<p>○ 犀川BG艇庫（本庄池）でのカヌー・ヨット教室は中止。</p> <p>○ 豊津B&amp;Gプールは新型コロナウイルスの影響により一般利用を中止。プールでのカヌー競技を指導者研修として実施。</p> <p>○ 豊津B&amp;G体育館（利用者7,170名：対前年度9,544名減）においては、学校行事・部活動などの利用（無料）、各種団体（体育協会、子ども会、老人会など）への使用料減免措置を行っている。</p> <p>○ 豊津B&amp;G体育館において、屋根防水塗装、照明のLED化、床の全面研磨、バリアフリー化、多目的トイレの増設等の改修工事を実施した。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 令和3年度の豊津B&amp;G体育館改修工事に続き、隣接するプールも計画的に保全の手を入れる必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>従前のように、みやこ町のスポーツの特性である海洋スポーツが出来なかったのは残念である。早く再開されることを期待したい。</p> <p>B&amp;Gの艇庫を伊良原ダムに設置できないか。予算の関係もあると思うが、検討をお願いしたい。</p>

主要施策 ④指導者の育成・発掘

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ・レクリエーション指導者の育成		<p>○ 新型コロナウイルスの影響で事業がすべて中止となった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 海洋性スポーツ・レクリエーションの指導者づくりが課題である。今後計画的にB&amp;G財団主催の指導者養成研修への参加を図りたい。</p>	A (A)	A (A)	C (C)	C (C)	
スポーツリーダーバンクの構築と活用		<p>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUを中心に指導者講習会等に参加し、指導者の養成に取り組み、各種団体からの依頼に対応している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スポーツリーダーになるべく人材育成及び組織構築が課題である。当面は、指導者の育成強化を図るため、現指導者に対して指導者講習会等への参加を促していく。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	どのスポーツや社会事業においても指導者の育成は喫緊の課題であるため、意図的・計画的に行っていくことを期待したい。



主要施策 ⑤運動をすることでの健康づくりへの取組

※令和3年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
実践しやすい運動について情報提供		<p>○ スポーツ推進委員に事業については町主催となるため、新型コロナ感染防止のためすべて中止。 スポネットTOYOTSUが実施している「体力アップ運動教室」などの情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スポーツ推進委員の事業は合併前の旧町からの引継ぎで継続しており、参加者も固定化、減少傾向が顕著なうえ、2年間実施できていない事から、そのまま再開するのではなく、新たな事業を検討したい。今後とも、町民が気軽に参加できるような魅力のある教室を開催し、防災行政無線・広報誌等での情報提供に努める。</p>	A (A)	A (A)	C (B)	B (B)	事業の課題を的確に把握して継続か否かを含めて検討することを評価したい。
関係団体との連携		<p>○ スポーツ推進委員事業はすべて中止。スポネットTOYOTSU等と連携を図りながら、町民の健康づくりに繋がる「体力アップ運動教室」を可能な限り実施した。</p> <p>○ みやこ町身体障がい者福祉会や子育て・健康支援課と連携したフライングディスク大会は中止。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日頃、運動しない人をいかにして運動に興味を持たせるようにするかが課題であるため、今後とも、関係機関等と連携を強化し、誰もが気軽に取り組めるスポーツ機会の提供に努める。</li> <li>○ 超高齢化社会を迎えているみやこ町における介護予防のニーズが高まっていることに鑑み、介護福祉課や関係機関と連携した事業について検討していく。</li> </ul>					

## 令和4年度 みやこ町教育委員会自己点検・評価（令和3年度対象）に対する外部評価委員会の所見

外部評価委員長 芋生 修一（福岡教育大学教職大学院 特任教授）  
委員 中村 政弘（みやこ町教育行政経験者）  
委員 刀根 伸（教職員経験者 小学校長経験者）

みやこ町教育委員会が令和3年度に取り組んだ活動について自己点検・評価をおこなったが、その点検・評価に対して外部評価委員会は3回に亙る委員会において慎重に審議した結果、以下の所見を述べる。

### 1. 外部評価の意義、並びにみやこ町教育委員会点検・評価の方法

『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正（平成20年4月施行）により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、情報公開の一環として広く市町村住民に公開することにより、住民に対して説明責任（アカウントビリティ）を果たすことが求められることとなった。

みやこ町における自己点検・評価及び外部評価は今年で11年目を迎えた。今年度の点検・評価及び外部評価は、基本的には前年度までの内容及び方法をほぼ踏襲して、令和3年度の教育委員会活動を、Ⅰ. 教育委員会の活動、Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務、Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の3つに区分し、それぞれについて教育委員会の活動の進捗・達成状況等を点検・評価している。その中で、「Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に係る主要施策・主要事業、並びに各活動については、「みやこ町第3次総合計画(令和3年度～令和7年度)の基本計画に示された主要事業及び教育委員会で策定した「平成29年度みやこ町教育施策リーフレット」の主要事業に対応し、「1 学校教育における学習環境の充実」、「2 生涯学習のための環境整備」、「3 図書館の整備・充実」、「4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用」、「5 文化芸術振興活動の推進」「6 スポーツ・レクリエーションの推進」の6つの施策から構成され、各々に主要施策並びに主要事業が設定されている。

以上の各施策並びに事業の達成に向けて実施された活動（取組）に対して点検・評価を実施している。

各評価項目（取組）に対する点検・評価並びに外部評価にあたっては、「Ⅰ 教育委員会の活動」及び「Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務」については、各取組の実施状況に対して、評価基準を「A.達成できた」「B.おおむね達成できた」「C.達成できなかった」の3段階評価として教育委員会が自己点検・評価したものを項目ごとに外部評価委員がその内容を確認し、別紙評価シートに評価を記載するとともに、以下の所見で総合的評価を記載する形を採っている。また、「Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「有効性」「効率性」「達成度」の観点及びそれら3つの「総合評価」という4つの観点が設定されている。そして、「有効性」の観点から「A.有効である」「B.おおむね有効である」「C.あまり有効でない」、また「効率性」の観点から「A.実施できている」「B.おおむね実施できている」「C.実施できていない」、「達成度」の観点から「A.期待を上回る」「B.おおむね期待どおり」「C.期待を下回る」、最後に「総合評価」として「A.達成できた・B.おおむね達成できた・C.達成できなかった」のそれぞれ評価判断基準を設けた。この評価方法による各項目の点検・評価の結果について、外部評価委員会は、2回に亘る聞き取りにおいて各担当部署に具体的な説明を求め、別紙評価シートにできる限り簡潔にその評価を記載するとともに、以下の所見において詳細に述べている。

## 2. 「教育委員会の活動」及び「教育委員会が管理・執行する事務」に対する外部評価

ここでは、上記「Ⅰ. 教育委員会の活動」及び「Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務」に係る取組について所見を述べる。

### [1] 教育委員会の活動

#### (1) みやこ町教育委員会会議の運営、公開等

##### ① 教育委員会の会議の運営改善について

会議は定例会 11 回及び臨時会 2 回が開催され、適切な運営がなされていると判断する。特に昨年度は、一昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するみやこ町としての指針を示す協議等が慎重に行われ、教育委員会としての方針を示したことで学校が混乱することなく、教育活動を継続できたことは評価したい。

##### ② 教育委員会の会議の公開等に関すること

これまでの外部評価において、教育委員会の会議をはじめ、自己点検・評価や外部評価に関する情報の公開、並びに会議の傍聴を促す取組を積極的に推進してほしい旨を指摘してきた。そうした指摘に対応して、平成 25 年度以降、教育委員会の開催についてホームページに掲載し周知を図るなど努力が継続的に行われてきた点を評価する。ホームページによる広報は閲覧できる町民に限られているのではないかという指摘も有り、今後も移動委員会の開催や町広報誌等の利用など、情報公開や住民の積極的関与のための工夫

を期待する。

③ 教育委員の自己研鑽、並びに学校等教育施設に対する支援・条件整備に関すること

県内あるいは京築地区で実施された研修会、並びに各学校で開催された学校行事等への参加については、計画的・継続的に実施されていることが確認された。今後も、教育方法や教育内容の急激な変化に対応できるように、研修会や研究協議会等への参加による知見（情報等）を確実にフィードバックし、みやこ町の教育行政や教育実践の改善・改革に結びつけるよう一層の研鑽・研修の充実を期待したい。また、必要に応じて研修内容の詳細をまとめて、町民に報告することも検討してもらいたい。

一方、積極的・定期的に学校等教育施設を訪問し学校の状況を意欲的に把握ため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら積極的に参加していることを評価したい。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し今後の状況を観察しながら、学校及び教育施設に対する訪問等を検討・実施していきたい。さらに、学校訪問後の指導内容や協議内容等を積極的に公開し、町民へ学校状況の理解を促していきたい。

[2] 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 本年度もみやこ町教育施策について審議・策定し各学校に配付していることが確認された。今後も教育委員会の考え方及びその政策遂行について、各学校長が作成する学校経営要綱へ具体的に反映し、具現化することを期待したい。また、策定した内容に則った学校運営の効果性を確認する場として、定期的な学校訪問だけではなく、教育長との面談や各学校における外部評価の結果公表を行っていることを評価したい。今後も継続するとともに、学校運営や組織化の在り方を交流し合う場と機会を設け、よりよい学校教育の在り方を確かなものにするように期待したい。
- (2) 教育行政の運営の必要上あるいは各学校及び地域の教育現実等への対応の必要上など、時代の状況に応じて常に見直しが行われ、適切に諸規則の改正等のアップデートを行っている判断し、評価したい。
- (3) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事項では、適任者の選定がなされていると判断する。今後も、日常的な町内の人材情報の収集を行い、経験豊富で適切な人材を任命するよう心がけることを期待したい。
- (4) 学校教育課においては、各校長より学校運営上の意見は聴取していると思われるが、生涯学習施設の課題も聴取し、町の課題解決に役立てていくことを期待したい。

3. 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に対する外部評価

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」は、6つに大別された大項目「学校教育における学習環境の充実」、「生涯学習のための環境整備」、「図書館の整備・充実」、「遺跡・文化財・博物館の整備・活用」、「文化芸術振興活動の推進」「スポーツ・レクリエーションの推進」であり、それぞれの大項目のもとにいくつかの主要施策、さらにその主要施策のもとに主要事業が示されている。点検評価は、主要事業の有効性、効率性、達成度を確認し評価したものである。以下は、教育委員会による自己点検評価に対して外部評価委員会が実施した評価の所見である。

### < 1 > 学校教育における学習環境の充実

標記の大項目のもとに、「①子どもの教育環境の充実」「②子どもの健康を守る取組の推進」「③学校施設の整備・充実」「④児童・生徒の安全確保」「⑤家庭教育力の向上」の5つの主要施策が設けられている。

#### (1) 子どもの教育環境の充実

この主要施策のもとに、「チームとしての学校づくり」、「9年間を見通した教育の充実」、「時代を担う人材育成のための教育の充実」、「多様な教育ニーズにこたえる教育の推進」、「安全、安心な給食の配食」の5つの主要事業が示されている。

「チームとしての学校づくり」については、「心理や福祉など多様な専門家の配置の促進」、「関係機関との連携強化」、「家庭・地域との連携強化」の3つの取組が、また、「9年間を見通した教育の充実」については、「小中連携教育の推進」、「基礎学力向上に向けた教育活動の充実」、並びに「心の教育や体力向上の取組の充実」の3つの取組が、さらに「時代を担う人材育成のための教育の充実」については、「国際理解教育・英語教育の推進」、「キャリア教育の推進」、「郷土を愛する心を育てる教育の充実」の3つの取組が、「多様な教育ニーズにこたえる教育の推進」については、「特別支援教育の充実」、「不登校児童・生徒への支援の充実」の2つの取組が、「安全、安心な給食の配食」については、「衛生管理の徹底と安全、安心な給食の配食」、「地場産農産物の利用促進」、「食育の推進」の3つの取組がそれぞれ実施されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下の通りである。

- ① 「心理や福祉など多様な専門家の配置の促進」については、町雇用のSSWやスクールアドバイザー、合理的配慮アドバイザー等の専門家による人的確保・配置を計画的に進めていることによって、効果が上がっていることは評価できる。ますます多様化する児童・生徒への対応を充実するためにも、指導力量のある人材確保及び適切な配置と増員とともに、今後も関係機関と連携しながら引き続き実施できるように予算の確保をお願いしたい。また、学校が家庭の課題について関わることは限界がある。今後も各機関との連携を深めていただき、子どもが安心できる環境を整えていただきたい。

- ② 「関係機関との連携強化」における連携の内容や相談等に関しては、今後ますますみやこ町教育委員会の主体性が問われてくる。学校任せではなく、他市や多様な関係機関と連携しながら効果的な指導支援体制を継続・発展していくことを期待したい。
- ③ 「家庭・地域との連携強化」については、各中学校区で統一した指導を行ったことが指導の効果を高める結果となっている。生活習慣や学習習慣確立の主体が家庭・保護者・地域となるようにするためにも、みやこ町PTA連合会と連携し、家庭・地域を巻き込んだ組織的な取組・推進を今後も期待したい。
- ④ 「小中連携教育の推進」については、重要な施策であり、計画的に進められていることや共通した多様な取組を実施していることは評価できる。今後は取組の特色化及び共有化を図っていく視点からも、小中連携のよさを啓発する広報活動や実践的な交流会の開催等を実施し、各校区の主体的な取組を促進したい。
- ⑤ 「基礎学力向上に向けた教育活動の充実」については、確実に成果が上がっており、みやこ町学力検証委員会を中心に継続した事業の展開を期待したい。特に「メソッドタイム」の設定は効果的であるので、その成果を公表して共有化を図り、積極的な取組を期待したい。また、各種研修会での成果が日常の授業改善にどれほど反映できているのか、その検証を行うなど、みやこ町教育委員会における指導性の発揮と人材育成計画の選定が求められる。
- ⑥ 「国際理解教育・英語教育の推進」については、全てA評価になっており成果が顕著に現れてきている事業であるため、今後の継続を期待したい。また、GTECの実施やALTの確保、積極的な派遣及びスピーチ大会などの表現する機会や場の確保・充実についても継続していきたい。
- ⑦ 「郷土を愛する心を育てる教育の充実」については、心の教育にも通じると考えるが、みやこ町の偉人・歴史等、郷土に関係した道徳教材の開発を期待したい。
- ⑧ 「特別支援教育の充実」については、適切な人的配置が計画的・継続的に行われていることを評価したい。今後も教育的ニーズに応じた体制づくりのためにも、協力員等の指導力量のある人材確保と配置及び増員を今後も期待したい。さらには、就学前からの指導の引き継ぎを図るためにも、福祉課や子育て支援課等の他部署や幼稚園・保育所等との連携が必要であるため、その連携のシステムを一層強化していきたい。
- ⑨ 「不登校児童・生徒への支援の充実」については、SSWSCの配置が計画的に実施され、その効果も上がっていることを評価したい。一人一人の児童生徒に応じた指導支援や早期発見・対応など、今後も対策のシステム化を確立していくことを期待したい。

## (2) 「子どもの健康を守る取組の推進」

この主要施策では、「食物アレルギーをもつ児童生徒への適切な対応」が示されている。「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」を活用して種々の取組や学校との連携・情報共有がなされていると判断する。今後も、適切な対応と着実な実行を期待したい。

### (3) 「学校施設の整備・充実」

この施策では、「統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進」、「ICT 教育推進のため電子黒板等の機器の整備の推進」、「特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備」が3つの取組がなされている。

- ① 「統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進」については、保護者や地域住民等の理解と協力を得ながら、計画的・継続的に再編整備を推進していることを評価したい。
- ② 「ICT 教育推進のための電子黒板等の機器の整備の促進」については、より効果的な活用のため環境整備や指導方法・実践事例等の拡充と積み上げ、並びにソフト面の充実を図り、ITC 活用の情報共有を図っていくことを期待したい。
- ③ 「特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備」については、他部署や関係機関と連携して情報の共有化と対応の多様性を評価したい。今後は、確実な環境整備の継続と中学校における巡回による通級指導のさらなる充実を期待したい。

### (4) 「児童・生徒の安全確保」

この主要施策は、「通学路の安全確保」、「安全見守り活動の充実」、「スクールバスの適切な活用」の3つの取組がなされている。いずれも着実に実施され、安全確保に努力していることが評価できる。特にスクールガードリーダーにおいては、不審者情報等への対応も行っており効果的な配置を評価したい。なお、スクールバス活用は、児童生徒の安全面や教師の負担軽減に極めて有効であると共に、学校再編に向けた重要な取組である。今後も利活用の拡充を期待したい。

### (5) 家庭教育力の向上

この主要施策は、「親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組」、「保護者が主体となり、学校との連携した学力の向上、規範意識の向上」、「発達段階に合わせた連携・教育の推進」の3つの事業が展開されている。

「親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組」において、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業もあったが、組織的な取組により効果が具現化しつつあり今後の継続と拡充を期待したい。

「保護者が主体となり、学校との連携した学力の向上、規範意識の向上」では、「携帯電話の取扱い」について各学校や各中学校区内に応じた取組の具体化を実施したことは評価できるが、一方では町としての統一した方針による指導が効果的であるという考え方もあ



るため、みやこ町 PTA 連合会や各関係機関との連携・実践を図りながら、更なる活動の充実を期待したい。

## ＜2＞生涯学習のための環境整備

この取組では、『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」と「生涯学習環境の整備」の主要施策を推進している。前者には、「ライフステージに応じた学習機会の提供」、「自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供」、「公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画」、「人権教育の推進」の4つの主要事業が、後者としては「生涯学習情報提供の充実」、「社会教育団体等への支援と活動の活性化」、「地域人材を活かした学習内容の充実」、「図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進」、「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し」の5つの主要事業が掲げられている。

『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」では、高齢者、女性及び青少年をそれぞれ対象とした学習機会を提供するための多様な講座等が前年度に引き続き計画されていたことを評価したい。しかし実際は、コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数を削減したり開催を中止したりしている。そのため参加者が減少しているが、地域住民からの期待も大きいので昨年度同様に減少した要因は何かを分析して事業の内容や方法を見直し、多様なニーズに対応できる今後の在り方を検討していくことを期待したい。また、受講生が望んでいる学習内容を掘り起こすことも大切だが、教育施策に則った学習も大切であると考え。さらに、図書館には図書司書、博物館には学芸員が配置されているように、社会教育にも社会教育主事を配置することを期待したい。そして、若年層にも資格を取得させ、社会教育の目的や課題に取り組んでいただきたい。

「人権教育の推進」においては、オンラインでの全体研修会を開催したことを評価したい。日々の教育活動の中で人権教育が充実するように、今後も他機関との連携と共に、交流会レポートを作成・配付・活用していくシステムを構築することを期待したい。

「生涯学習環境の整備」では、「生涯学習情報提供の充実」については、スマホやタブレットなどのICT活用による情報の共有化を実施するなど、多様な手段を活用した広報が随時適切に行われていると評価する。

「社会教育団体等への支援と活動の活性化」については、コロナウイルス感染症拡大防止の中でも活動助成を継続するとともに、今後子ども会育成連合会や婦人会等の事業内容の見直し及び支援の在り方を検討することを期待したい。

「地域人材を活用した学習内容の充実」の「通学合宿事業の推進」については、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、児童の体験不足を補完する上で有効な事業であり、再開に向けて運営スタッフとしての地域ボランティアの育成を図っていくことを期待したい。そのためにも、中学生も参加させ、将来における地域のリーダー育成に繋がることを期待したい。

「図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進」、「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直

し」については、計画的に且つ確実に実施できているが、今後の方向性を明確に示して事業を推進することを評価したい。

### ＜3＞図書館の整備・充実

図書館の整備・充実に関する施策では、「図書館の利用促進」と「図書館を活用した地域文化活動の促進」の2つの主要施策が展開されている。

「図書館の利用促進」については、「中央図書館、分館、移動図書館の連携強化」、「インターネットなどを活用した広報活動の充実」、「子ども読書活動の推進」の3つの主要事業が展開されている。各図書館の閉館日をずらすなどして、町内図書館が常に開館していることは、利用者にとっては好評であると判断する。さらに、図書館で行う事業や行事等をホームページだけでなくフェイスブックに掲載することにより、多くの方に周知できるように努めていることを評価したい。今後は、デジタル絵本の活用も期待したい。

また、「図書館を活用した地域文化活動の促進」については、「読書ボランティア等の人材の育成・確保」、「ブックスタート事業の推進」、「図書館を活用した各種行事」、「博物館と連携した文化活動（ギャラリー利用）の推進」が取り組まれている。

コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛する事業もあるが、開催可能な事業については、コロナウイルス感染症拡大防止に対応しながら確実に実施されていると判断する。特に「ブックスタート事業の推進」については、本にふれ、好きな機会を提供するといった本事業の価値性から継続することを期待したい。またこの活動が充実・継続するためにも、読書ボランティアのスタッフの確保と新たな人材育成を期待したい。

### ＜4＞遺跡・文化財・博物館の整備・活用

「町内の文化財の有効活用」、「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」、「遺跡・文化財の整備推進」の3つが主要施策として示されている。

「町内の文化財の有効活用」においては、コロナ禍でも利用者の期待に添うように確実に実施できる事業については計画的に実施していることを評価したい。各関係者との連携・協議を密にしながら、意図的・計画的・効果的に維持管理を促進していくこと、特に資料のデジタル化は必須になるため環境整備とその対応を期待するとともに、文化財や伝統行事等を教材化して子供たちの郷土愛や愛着を深めることを期待したい。また、他課と連携しながら事業が進められていることを評価し、今後も積極的・継続的に連携していきたい。

「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」については、殆どの事業がコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっているが、次年度に向けた新たな案を企画したり、他課と連携・協力したりしながら、よりよい文化財を通じた交流の深まりを期待したい。また、常に利

活用促進のために保存状態の確認や補修を計画的に行い、よい状態を管理できていることを評価したい。

「遺跡・文化財の整備推進」においては、各種調査・記録保存や整備・活用においては確実に実施されていることを評価したい。今後は、コロナの影響で実施できない事業については再開できる条件や可能性を検討するとともに、インターネット上からの公開・閲覧が可能になる情報収集・保存や更新の在り方を工夫することを期待したい。

### ＜5＞文化芸術振興活動の推進

ここでの取組として「地域文化を活かした文化振興事業の推進」が主要施策として示されており、「文化協会等による文化・芸術活動の支援」、「文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等の支援」、「伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施」が展開されている。

いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したり自粛したりしているが、今後、俳句や絵画・作文等、伝統文化やその遺産・文化資源を活かした文化事業を充実し、応募対象や人数等を拡充してより多くの人に伝統文化(遺産)のよさを感じ取る機会となることを期待したい。

### ＜6＞スポーツ・レクリエーションの推進

令和3年度に作成した第3次みやこ町総合計画をスポーツ振興計画と位置づけ、誰でも、いつでも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進していくことをスポーツ推進審議会で審議し、「住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進」、「競技スポーツの振興」、「既存の体育施設の有効活用と利用促進」、「指導者の育成・発掘」、「運動をすることでの健康づくりへの取組」の5つの主要施策が示されている。以下、特徴的な事項を記載する。

- ① 「スポーツ推進計画の策定」に向けて、スポーツ推進審議会での審議内容を公表するなどして、スポーツの振興を図っていくことを期待したい。また、「ニュースポーツの普及・推進」や「アダプテッド・スポーツの取組」に関しては、誰もが楽しくスポーツができる環境を整えるために、アダプテッド・スポーツに前向きに取り組んでいることを高く評価したい。学校教育との連携も視野に入れてその内容や取組方法等を検討することを期待したい。
- ② 「オリンピック選手などトップアスリー招へい」については、極めて貴重な機会であったが、関係機関や団体の協力を得ながら、トップアスリーの招へいや交流の継続を期待したい。
- ③ 「海洋性スポーツ・レクリエーション施設(B&G財団)の利用促進」については、従前のように、みやこ町のスポーツの特性である海洋スポーツが出来なかったのは残念である。早く再開されることを期待したい。また、B&Gの艇庫を伊良原ダムに設置できな

いか、予算との関係もあるが検討を期待したい。

- ④ 「スポーツリーダーバンクの構築と活用」については、どのスポーツや社会事業においても指導者の育成は喫緊の課題であるため、意図的・計画的に行っていくことを期待したい。

#### 4. 全体所見

これまで主要事業の各取組について評価してきたが、最後に全体所見として2点記しておきたい。

##### (1) 「成果のある事業の継続・充実」

令和3年度におけるみやこ町教育委員会の施策については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画されていたいくつかの事業が自粛・中止または規模縮小による開催となった。特に「生涯学習のための環境整備」や「文化財・博物館の整備」、「文化芸術振興活動の推進」「スポーツ・レクリエーションの推進」に関する施策の内容に多くにみられた。しかし、その中でも開催に向けた工夫と努力がなされて実施された多くの事業に関しては、いずれの項目においても概ね着実に施されていると判断する。また、いずれの取組も計画的に実施され、その検証も確実に行われている点を積極的に評価したい。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止の中でも顕著に成果をあげている事業として、「子どもの教育環境の充実」での「関係機関の連携強化」における不登校生徒への対応、「国際理解教育・英語教育の推進」におけるGTECの実施やALTの小中学校派遣、中学生スピーチ大会、「特別支援教育の充実」における合理的配慮協力員の配置や適性就学に向けたきめ細かな教育相談の実施、年間を通じ通級担当教員と教育委員会との協議会の実施、「地場産農産物の利用促進」における食育の日（毎月19日）の周知徹底、また、「子どもの健康を守る取組の推進」での食物アレルギーへの適切な対応、「児童・生徒の安全確保」での「安全見守り活動の充実」におけるスクールリーダー配置と連携、「スクールバスの適切な利用」における安心・安全且つスムーズな運行、さらには、『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」での「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し」における計画的な方向性の提示、「図書館の整備・充実」での「インターネットなどを活用した広報活動の充実」におけるホームページやフェイスブック等による図書館事業の周知、「ブックスタート事業の推進」での保護者への読み聞かせと絵本配付、「図書館を活用した各種行事」における読書週間関連事業やブックリサイクル、「遺跡・文化財・博物館の整備・活用」での「全国に誇る歴史文化遺産の保存と活用」における修復・保存及び資料の利活用、「遺跡を保護するための各種調査、記録保存」における調査・保存・報告書作成等は有効な取組であり、今後も成果が大いに期待できる。

(2) 他課との連携による効果的・効率的な事業展開の継続・発展

現在、施策や事業についてはみやこ町教育委員会内の2課9係によって、主要施策の決定や取組・事業名及び担当課の決定等が行われ、担当各課を中心に必要に応じて首長部局の他課と連携して施策や事業の具体的な取組が行われている。

コロナ禍で計画通りの事業や大会等が実施されない中であるからこそ、今後の施策を具体化・具現化して行く在り方として、みやこ町教育委員会としての単独事業としてのよさは残しつつも、福祉課や子育て支援課等の他部署との連携・協働事業として展開するとより効果的・効率的な事業になる施策も考えられる。これまでもこの連携・協働については実施されてきており効果的な取組が多く見られるようになっているが、さらに積極的に他部署や幼稚園・保育所等との教育機関・施設との連携し総合的に実施できるビジョンとシステムの確立を期待したい。